

2019年度全国高校野球OBクラブ連合理事会（第1回）

日 時： 2019年6月8日（土）13:00～15:30

場 所： 神戸大学人間発達環境学研究科応接室

出席者： 前崎、宝槻、高山、小川、北野、長ヶ原

欠席者： 戒能、彦次、

事務局： 松村、松崎、乾、山下

議 題：

- 1) 全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況について（資料1-1、1-2、1-3）
- 2) 2018年度事業報告について（資料2-1、2-2）
- 3) 2019年度事業計画について（資料3-1、3-2）
- 4) 全国高校野球 OB クラブ連合年会費について（資料4）
- 5) 地方予選大会表記ガイドラインについて（資料5）
- 6) その他

議事録

13:14より長ヶ原理事長（以下、理事長と称す）の挨拶と次第内容および理事出欠者の確認により開会。

議題1) 全国高校野球 OB クラブ連合加盟状況について（資料1-1-2-3）

理事長より資料1-1（全国高校野球 OB クラブ連合加盟校一覧）に基づき、2019年6月8日時点の加盟状況（41都道府県660校）が報告された。北海道・東北ブロックの加盟状況について宝槻理事より、秋田県における新規リーグ開設とブロック大会の準備について報告された。高山理事より各リーグの状況と共に、関東大会の開催（9月23日【群馬県開催】）について報告された。小川理事より北信越・東海ブロックの加盟状況・東海大会の開催（5月18日）について報告された。理事長より近畿ブロックの加盟状況・近畿大会の開催（11月23・24日【和歌山県開催】）及び中国・四国地区の加盟状況について報告された。また、中国・四国ブロックについては、理事長より香川県が新規リーグ開設に向けて幹事校である高松高校が中心となり活動している旨が報告された。前崎理事より、九州・沖縄ブロックにおける加盟状況と共に、九州大会の開催と計画について報告された。理事長より、次期シリーズ（2020-2022）におけるブロック大会開催に向け、マスターズ甲子園大会事務局とブロック間が連携体制を築き、運営体制・加盟状況を随時確認していきながら2022年のブロック大会準備を進めていくことが確認された。理事長より資料1-2に基づき、マスターズ甲子園2019本大会プログラムについて説明がされ、2019年現在、代表 OB 校として4校（埼玉県代表市立浦和 OB、福島県代表郡山北工 OB、愛知県代表国府 OB、三重県代表久居 OB）が確定している旨、雨天順延日が12月4日（水）である旨が報告された。理事長より、資料1-3に基づき、マスターズ甲子園2020-2022シリーズについて説明された。前崎理事より、2年シリーズ（2018-2019シリーズ）と3年シリーズ（2020-2022シリーズ）間の繋がりから2年に1度の本大会への出場を配慮したシリーズ体制について提案され、理事長より、2年シリーズ（2018-2019シリー

ズ)と3年シリーズ(2020-2022シリーズ)はそれぞれ独立したシリーズ体制で構築されている旨が説明され、各理事での協議の結果、2022大会(第19回大会)以降のシリーズにおける大会追加枠・申請枠の決定・優先方法については、引き続き理事会・実行委員会で状況確認と協議を継続し、2021年次の総会の際に、次期シリーズ計画も考慮しながら検討していく方向で一致した。

理事長より、**議題2)2018年度事業報告(資料2-1、-2-2)と議題3)2019年度事業計画(資料3-1、3-2)**については、マスターズ甲子園2019実行委員会(第1回)で協議する旨が提案され、協議の結果、各理事より承認された。

議題4)全国高校野球OBクラブ連合年会費について(資料4)

理事長より、資料4に基づき全国高校野球OBクラブ連合・年会費対象校(603校)の納入状況及び対象校条件について説明がされた。理事長より年会費納入校として、地方予選リーグが開設されている27リーグにおいては、マスターズ甲子園地方予選大会開催の有無に問わず、全国高校野球OBクラブ連合に加盟した時点で年会費対象になること。加えてシリーズ申請枠・追加枠に申請する際の抽選票に適用される高校は、年会費を納入していることの条件が提案された。各理事の協議の結果、本来の年会費納入時期(6月末)以降の新規リーグ開設の場合の、次期シリーズ枠申請時(10月第2週目)までに年会費納入については、申請枠の中に記載する内容案を示し、次回の理事会において確定することで一致した。

議題5)地方予選大会表記ガイドラインについて(資料5)

理事長より、資料5に基づきマスターズ甲子園2018-2019シリーズ基本事項と表記ガイドラインについて説明された。また、地方予選大会の共催には、地方朝日新聞社総局のみ共催とする旨、朝日新聞者以外の新聞社による支援を受ける場合は、該当の新聞社から承認を得て、朝日新聞者総局と共に共催団体として表記する旨が確認された。加えて、特別協賛についても甲子園本大会同様に地方予選大会にも「アシックスジャパン株式会社・サントリー金麦・パナソニック株式会社」の3社を表記する旨が確認された。地方予選大会の協賛については、特別協賛社以外の野球用品関係者の協賛と併記は可能である旨、併記する場合はマスターズ甲子園大会事務局へ対し協賛社名の確認をとった上で承諾する旨が確認された。前崎理事より、マスターズ甲子園へ直結する予選大会でない地方大会における特別協賛社「サントリー金麦」社名表記の有無について質問がされた。理事長より、地方大会における金麦サンプリングはサントリー社との契約で本大会出場の16リーグに限定されていることから、本大会に直結しないリーグについては、金麦サンプリングを実施せず社名(サントリー金麦)のみを表記する旨が確認された。また、共催と特別協賛の記載については、本大会の予選に関わらず、本連合加盟OB校による地方大会、ならびに今後のブロック大会やその準備大会に関連する大会において適用されることで一致した。

以上をもって議案の審議が終了し、理事長により15時30分に散会